

「教えて考えさせる授業」の趣旨と動向

市川伸一（東京大学教育学研究科）

<http://www.p.u-tokyo.ac.jp/lab/ichikawa/>

2015/3/26

1

「教えて考えさせる授業」の提案

「教えて考えさせる授業」（市川、2001、2004）

「詰め込み」「教え込み」: 旧タイプのわからない授業

教えずに考えさせる授業: 新タイプのわからない授業

教えて考えさせる授業

予備知識の教授により、理解・問題解決・定着を促す

中教審答申（2008年1月17日 p. 18）

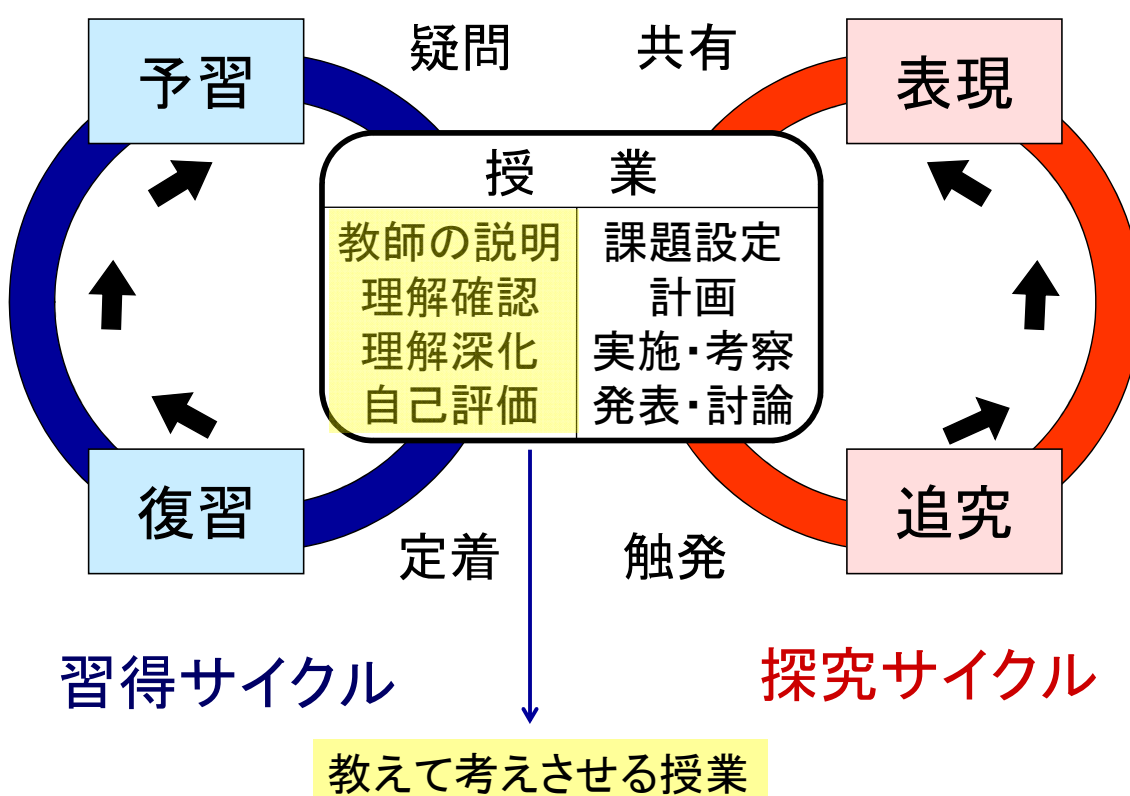
「……**教えて考えさせる指導**を徹底し、**基礎的・基本的な知識・技能の習得**を図ることが重要なことは言うまでもない。」（**教材・教具の工夫、理解度の把握**）

2

認知心理学から見た「理解の深まり」

- 浅い理解から深い理解へ
知識の関連づけの成立
断片的な知識から構造化された知識体系へ
- 理解の深まった状態とは
自分の言葉で説明できる
質問に答えられる
類似問題に応用できる
- 理解を深めるための習得学習のサイクル
受容学習／能動的表現／問題解決・討論／教訓の抽出

3



4

「教えて考えさせる授業」は何をめざすのか

- **すべての児童・生徒に、やりがいのある授業**
 - 進んでいる子に足踏みさせない
 - 遅れている子もついていける
- **教科書を使って、教科書を超える授業**
 - 予習、授業、復習での共通のリソースとして活用
 - 教材・指導法・課題によるバリエーション
- **確実な定着と理解・活用・思考・表現のある授業**
 - 協同学習による参加意識とコミュニケーションの促進
 - 自己評価によるメタ認知の育成

5

「教えて考えさせる授業」の展開状況

- **地域でいうと**
 - 沖縄、岡山、北海道で複数校の集中的取り組み
 - 個別学校での取り組み
- **学校種でいうと**
 - 6割が小学校、3割が中学校、1割が高校
 - 小中連携での取り組み： 広島、鳥取、山口等
- **教科でいうと**
 - 小学校：7割が算数、学校によっては、国語、全教科
 - 中学校：全教科、 高校：5教科

6

「教えて考えさせる授業」の導入校の変化

● 教員の変化

授業についての話題の共有化、日常化
教科・校種を越えて議論できる授業検討会
教育目標の明確化／指導法開発への意欲

● 児童・生徒の変化

授業進行についての見通し
相互説明活動、協同的問題解決、自己評価の習慣化
予習の定着／授業への期待・意欲
理解深化課題への期待／理解・定着の満足感

7

紹介リソース その1: 書籍

『学ぶ意欲とスキルを育てる』（市川著：小学館、2004）

『「教えて考えさせる授業」を創る』（市川著、図書文化、2008）

『教えて考えさせる授業 中学校』（市川編、図書文化、2012）

『「教えて考えさせる授業」の挑戦』（市川編、明治図書、2013）

『学力と学習支援の心理学』（市川編、放送大学教育振興会、2014）

（制作中）

『教えて考えさせる算数・数学』（市川著、図書文化、2015）

8

紹介リソース その2: ビデオ等

『学力と学習支援の心理学』 放送大学番組 (2014~, 年3巡)
第6回: 全体的解説+算数、第9回: 理科、第10回: 社会、
第11回: 英語、 第12回: 事後検討会(三面騒議法)

『教育の最新事情』 放送大学教員免許更新研修 (2014~)
第9回: 現行学習指導要領と教育課程実施状況(市川)

ネット配信ビデオ(制作中)

『実録「教えて考えさせる授業」』 (市川監修)

① 分数のわり算(小6)、 ② 連立方程式とグラフ(中2)
パスワードを発行して、学校、教育委員会向けに提供予定

9

紹介リソース その3: セミナー等

東京 『OKセミナー』 (毎年8月) OKJ研究開発ネット主催
『教育研究交流会』 (毎年6月) 市川研究室主催

岡山 『OKセミナー in 岡山』(毎年7月)
『学力・人間力育成事業交流会・報告会』(8月、2月)
(公財)福武教育文化振興財団主催

美祢 『OKセミナー in 美祢』(本年8月19日、第1回開催)
山口県美祢市教育委員会主催

ネットによる情報提供、意見交換等

市川研究室HP, メーリングリスト「OKネット」

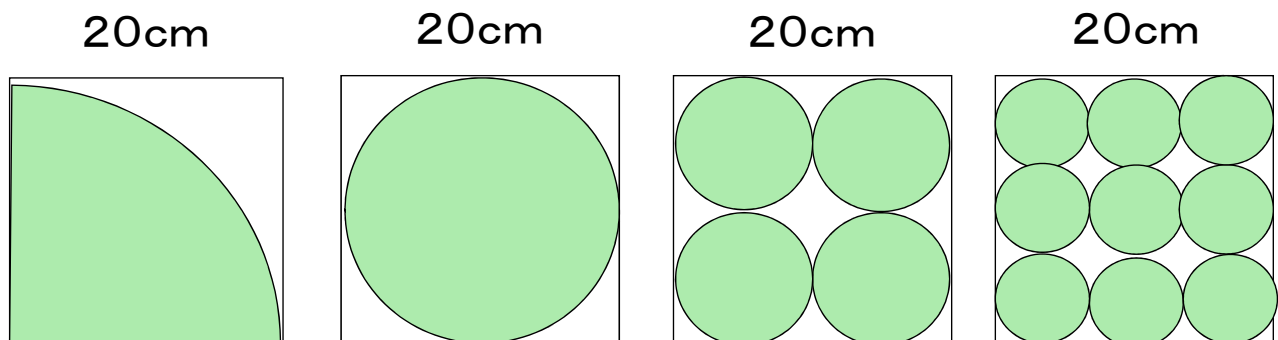
10

授業づくりのポイントはどこにあるか

- **困難度査定—難しいところにこそ、時間と工夫を**
指導書、教育書などの解説を利用
自らの学習経験や指導経験から
「子どものつもりになって」というイメージーション
- **教える場面の工夫—コンパクトに重要な点を**
ただし、単なる要約でなく、教材や教え方を工夫
- **理解深化課題の工夫—課題のレパートリーを広く**
教科書の発展問題、教育雑誌などの活用
教師が疑問、代案を出す習慣

11

円の面積 = 半径 × 半径 × 3.14



12